

## 子育てに関する課題

|    | 分類     | 課題（ギャップ）   |
|----|--------|--|
| 1  | 預け先    | 学級閉鎖、休校等緊急事態の時の受け皿は？                                 |
| 2  |        | 学童に入れるかどうか心配しなくていい                                   |
| 3  |        | 急に用事や仕事が入った時に子どもを見てくれるところ                            |
| 4  |        | 病児の保育  |
| 5  |        | 休日保育（土日の保育の受け入れ先）                                    |
| 6  |        | 育児のレスパイト（一時的に育児の負担から離れ、休息やリフレッシュするために支援を受ける仕組みやサービス） |
| 7  | 情報発信   | 情報発信で栗東市だけではなく、近隣市や民間イベントも含めた広い情報発信（集約したもの）          |
| 8  |        | 色々な情報がスマホでキャッチできる環境が必要                               |
| 9  | 企業の取組み | 子どもが病気のときの休みの取扱い（半休などの制度）                            |
| 10 |        | 共働き家庭において子どもの急な病気のときに仕事を休みにくい（職場の同僚への負担、気兼ね）         |
| 11 |        | 働くことに体力も知力も奪われて子育てを楽しむ余裕のない人も少なくない（働き方の問題）           |
| 12 |        | ワークライフバランス（会社、企業側の就業体制が両立しやすくなっているかどうか）              |
| 13 |        | 企業が育休等を後押ししやすい仕掛け、仕組み                                |
| 14 |        | ジェンダー（やっぱりまだ子育ては母が担っているのではないか）                       |
| 15 | ふれあい   | 保護者がフランクに集える場  |
| 16 |        | 地域とのかかわり   |
| 17 |        | 孤立する子育て（様々な施策があるのに利用されない）                            |
| 18 |        | 妊娠中の相談（保健師の訪問等）                                      |
| 19 | 助成     | 教育費、保育費もかなり負担が大きい。サラリーが一定あっても負担感があるのでないか）            |
| 20 | 整備     | 児童館の老朽化（床が寒い）  |
| 21 |        | ICT化（情報が分断されていないか？どこでも同じことを聞かれる）                     |

## 子どもに関する課題

|    | 大分類 | 課題（ギャップ）  |
|----|-----|---|
| 1  | 相談  | 学校での学習に不安があるが尋ねる相手や方法等が分からない                                  |
| 2  |     | 親や友達以外に相談できる場所がない   |
| 3  |     | 中学校から高校へ移行する際のつなぎが脆弱（コミュニケーションが複雑化する中で、小中学校は大丈夫でも16才以降引きこもる等） |
| 4  | 健康  | 学校健診の受診機会の確保ができない家庭   |
| 5  |     | 食育を必要とする親の存在（フルタイムの母親の家事に対する負担感）                              |
| 6  |     | 生活習慣の乱れ（SNS、スマホ、ゲーム等にはまり、睡眠時間が取れていらない）                        |
| 7  |     | 運動能力の低下（異常気象等により外遊びの不足。SNS、スマホ、ゲーム等も関係している）                   |
| 8  | 整備  | 本屋さんがない（図書館だけでなく、本屋さんで選びたい）                                   |
| 9  |     | 遊びに対する制限（ボール、スケボーの禁止）   |
| 10 |     | 遊具の安全性と経験機会の確保  |
| 11 |     | のびのびと遊べる広い公園がない   |
| 12 | 貧困  | 裕福な家庭、貧しい家庭の二極化   |
| 13 |     | お金に余裕がないので習い事や遊びに行けない   |
| 14 |     | 体験や教育格差（たくさん習い事をしている子、いろんなところに連れていってもらえる子）                    |
| 15 |     | 複合多問題家庭への支援の不足  |
| 16 |     | スポーツをしたい（させたい）が親に送迎等の余力がないと参加をためらう。（我慢させてしまう）                 |
| 17 |     | 学童保育の時間をこえた預かり先がない（仕事で残業等）                                    |
| 18 | 居場所 | 友達と放課後安心して集まって遊べる場所がない  |
| 19 |     | 今は、野球をしない。できない。   |
| 20 |     | 長期休みの際の子どもの居場所（預かりも含めて）                                       |
| 21 |     | 遊びに関する声「児童館に行きにくい」→それはなぜ？→知らない？行ったことがない？                      |
| 22 |     | 居場所が足りない（チューターも年々減少している）                                      |
| 23 |     | 年齢別の遊べる場  |
| 24 |     | 地域の人とふれあう機会が少ない（同じひとばかりとふれあう）                                 |
| 25 |     | 放課後を過ごす場所がない（親は仕事）  |
| 26 |     | 子どもが学校に行きたくないと言ったら安心して行ける他の場所があるか？                            |
| 27 |     | 「居場所」安心できる場所があるか？   |
| 28 |     | 子ども同士の「ふれあい」「距離感」の教育  |
| 29 |     | 集まって遊ばない子ども。（遊びで様々なことを学ぶのに）たくさん集まっているように見えても各々がゲーム機で遊ぶ。       |
| 30 |     | 地域を介さずに自分の子は自分で育てるを考える人もいる                                    |
| 31 |     | 不登校への支援（とくにアウトリーチ）  |
| 32 |     | 学校に行きたくない（行けない）子どもの居場所  |
| 33 |     | 不登校（家にいる間、スマホづけ）  |

## 若者に関する課題

|    | 大分類    | 課題 (ギャップ)  |
|----|--------|--|
| 1  | 社会参加   | 地域とつながる場がない  |
| 2  |        | 近隣の人とつながりが少ない  |
| 3  |        | 地域行事への参加が少ない   |
| 4  |        | 小さな役に立てる機会が必要（自信を育める）  |
| 5  |        | 若者が主役となって地域の行事（祭り等）に参加できる機会が必要（本人のやる気を発揮する場所）                  |
| 6  |        | 高校や仕事での人間関係で悩み、中退や退職に追い込まれる若者もいる。伴走型の支援の充実が望まれる。               |
| 7  |        | 社会参加（自治会活動等）が少ない   |
| 8  |        | 投票に行かない。投票する人がいないこの状況を変えたいと思わない                                |
| 9  |        | ボランティア活動への参加が少ない   |
| 10 |        | 急に18歳から大人といわれ、色々な責任がうまれる不安                                     |
| 11 | 居場所    | 魅力的な集まる場が近くにない   |
| 12 |        | 遊び場（リラックスできる場）がない  |
| 13 |        | 若者の居場所。18歳以上なので、昼間は仕事や学校等に通っている人がほとんど。夕方から夜の時間帯（人によっては昼時間）の居場所 |
| 14 |        | 趣味や関心のある者どうしが実際に集まる居場所づくり（SNSがスタートであっても）                       |
| 15 |        | 人とリアルに関われる場所が少ない   |
| 16 |        | 社会から関心をもってもらえない  |
| 17 |        | 家から出られない。居場所があってもそこへ出掛けられない。諸機関との連携も必要。                        |
| 18 |        | 虐待的な家庭で育った若者がいま、SOSをあげられる場所がない                                 |
| 19 | ネット    | メールは得意だが、電話、対面は苦手  |
| 20 |        | 偏った考え方   |
| 21 |        | 若者対象のワンストップ相談窓口がない（子若窓口）                                       |
| 22 |        | ゲーム、ネットの世界にひたってしまい、現実や生身の人間が苦手                                 |
| 23 |        | スマホ・ゲーム依存。暇な時間の過ごし方が分からない                                      |
| 24 |        | スマホ中心の生活による影響  |
| 25 | 相談     | 現実の世界に相談できる人がいない   |
| 26 |        | 相談できる場がなく、ネットにたよるしかない  |
| 27 |        | 親との関係の相談はどこでしたらよいのか  |
| 28 |        | 急に社会に出ていく不安。相談できる場所が分からない。                                     |
| 29 |        | 発達のしんどさに気づいた時にうまく支援につながれない                                     |
| 30 |        | 健康、体調、性の問題は仕事や勉強に次いで多くの若者が悩みを抱えている。正しい情報が手に入る場が必要              |
| 31 |        | 家庭像や結婚観など貧困の中で理想がもてない人がいる。モデルの喪失。                              |
| 32 | 結婚     | 結婚をしない（必要と思っていない）  |
| 33 |        | 結婚できない、つきあう人がいない、「マッチングアプリなんていや」と考える人もいる                       |
| 34 |        | 出会いの場がない   |
| 35 | 仕事（貧困） | 市内に就職先がない  |
| 36 |        | 貧困（給料が安い）  |
| 37 |        | 仕事を続けられない（転職を繰り返す）   |
| 38 |        | 闇バイト   |